

# 百間堤 (有切ため池)

(ひゃっけんつつみ (ありきりためいけ))



全景



「百間堤」の堤体と下流に連なる「有切棚田」

紙芝居  
「室根の  
ため池物語」



## ため池の概要

### □ため池の所在地

岩手県一関市室根町

### □ため池の特徴

百間堤は岩手県南部の北上山系にあり、その名の通り“百間(180m)”を超える堤長をもつ室根町最大のため池です。

この地域は急傾斜の中山間地帯で、小さな沢に頼っての稲作であったため、水不足による凶作が多く、「百間堤」はその解消のために築堤されました。伊能忠敬に弟子入りした「小野寺面之助」が、1804～1845年頃山野の開拓・貧民救済のために普請したと語り継がれています。

百間堤は、東磐井地域棚田20選に選ばれた「有切棚田」を潤す重要な水源であると同時に山あいの風景に溶け込む美しい景観を呈し、地域の人々の憩いの場ともなっています。

ため池が果たしてきた農業上の役割や多面的機能を伝える取り組みとして、小学校や公民館などで、この池をモデルに地元の高校生が制作した紙芝居「室根のため池物語」の発表会が行われています。

## 関連情報